

2026年2月号

 INVEST IN TURKIYE

FDI AGENDA



投資・財務局からのメッセージ

今月は、トルコが地域や分野を超えた戦略的パートナーシップ、技術主導の成長、付加価値投資の世界的な拠点として着実に前進していることを改めて示しました。

トルコとマレーシアのハイレベル戦略協力評議会がアンカラで初めて開催されるなど、ハイレベルな関与が引き続き最優先事項となりました。レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領とマレーシアのアヌワル・イブラヒム首相の指導のもと、複数の協定が調印されました。これにより、投資、産業、制度的協力にまたがる、より深く体系的なパートナーシップの基盤が築かれました。

今月はデジタルトランスフォーメーションと未来志向の技術が特に注目を集めました。投資・財務局は、2026年から2027年にかけての覚書（MoU）を通じ、マスターカードとの新たな協力段階に入りました。これにより、トルコのデジタル経済と投資主導の変革計画が強化されます。

この勢いは、2026年9月にイスタンブールで初開催される「GITEX AI Türkiye」の立ち上げにもさらに反映されております。これは、世界的に著名な「GITEX GLOBAL」ブランドをトルコに導入し、人工知能に特化した取り組みを推進する多者間合意のもとで実現するものです。発表会において、投資・財務局長のA・ブラク・ダールオールは、トルコのAIエコシステムの深さを強調しました。現在、AIに特化したスタートアップ企業は1,000社以上を数え、2025年だけで300件を超える投資取引が記録されています。

このひと月を通じて、トルコの活気あるスタートアップとイノベーションのエコシステムが引き続き注目を集めました。スタートアップ・ウォッチ年次イベントでは、同国の起業家環境に関する包括的な見解が示され、投資・財務局長のA・ブラク・ダールオールより投資動向とエコシステム動向に関する洞察が共有されました。

トルコの国際的な存在感の高まりは、主要なグローバルプラットフォームにおいても明らかでした。ドバイで開催されたガルフード2026において、9つのトルコスタートアップ企業がガルフード・スタートアップ・プログラムの下で初参加し、世界中の来場者に向けて革新的なソリューションを披露しました。投資・財務局は、香港で開催されたアジア金融フォーラムおよびアブダビ・サステナビリティ・ウィークにおいて、国際的なステークホルダーとの対話を進め、トルコの金融、サステナビリティ、グリーン投資における強みを強調しました。

国内では戦略産業における具体的な進展が続いております。トルコは2025年に航空旅客数が2億4720万人に達し、過去最高記録を更新しました。これは同国の交通・インフラエコシステムの規模と強靭さを示すものです。航空および先端製造業において、ロールス・ロイスとターキッシュ・テクニクは、イスタンブール空港に最新鋭の航空エンジン整備・修理・オーバーホール（MRO）施設の建設に着手しました。これにより、トルコが世界の航空宇宙産業バリューチェーンにおいて確固たる地位を築くこととなりました。

国際ビジネスコミュニティとの対話は引き続き活発に続けられました。イスタンブールで開催されたCCEユーラシア・ビジネスフォーラムでは、フランスの主要企業の上級幹部の方々がトルコの進化する投資環境を評価する場が設けられました。一方、「トルコとイタリア：欧州とその先を見据えて」と題されたパネルディスカッションでは、トルコとイタリアの関係者が一堂に会し、トルコとEUの関係における政治的・経済的側面について議論が行われました。

外交、技術、金融、産業の分野において、トルコは確固たる姿勢と一貫性をもって、市場、アイデア、人々、そしてエコシステムを結びつけながら、ビジョンを確かな行動へと変え続けております。投資・財務局では、この勢いをさらに推進し、トルコを高品質な投資先として信頼され、革新的で将来を見据えた目的地として位置づけることに引き続き尽力してまいります。



A・ブラック・ダールオール投資・財務局総裁



トルコとマレーシア、戦略的協力関係を深化させるため複数の協定に調印

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領とマレーシアのアンワル・イブラヒム首相は、アンカラの大統領官邸で開催されたトルコ・マレーシアハイレベル戦略協力評議会の初会合に続き、トルコとマレーシア間の戦略的、経済的、制度的協力を強化するための一連の協定の調印に立ち会いました。

式典の中で、エルドアン大統領とアンワル首相は、ハイレベル戦略協力評議会を設立する共同宣言に署名しました。これは、二国間関係の新たな段階を示すものであり、両国が複数の分野にわたる協力の拡大に取り組むことを強調するものです。

主要な合意事項の一つは、投資・財務局とマレーシア投資開発庁（MIDA）との間で締結された覚書（MoU）です。

覚書は、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオールとマレーシア投資開発庁（MIDA）最高経営責任者（CEO）のダトゥク・シク・シャムスル・イブラヒム・シク・アブドゥル・マジド氏によって署名されました。

本協定は、トルコとマレーシアの投資家間の二国間投資機会の拡大、制度的協力の強化、および越境プロジェクトの促進を目的としております。

高等教育、金融、輸出信用、戦略的研究、防衛産業、情報通信技術（ICT）の各分野において、追加協定が締結されました。

これには、トルコ高等教育評議会とマレーシア高等教育省との間の協力協定、ならびにトルコ輸出信用銀行（Turk Eximbank）とマレーシア輸出入銀行（EXIM Bank）との間の覚書が含まれております。

さらに、DESAN 造船所とマレーシア内務省の間で多目的任務艦の購入に関する受諾書が署名されました。これは防衛および海洋分野における協力関係の深化を示すものです。

トルコ情報通信技術庁（BTK）とマレーシア通信マルチメディア委員会（MCMC）の間、ならびにトルコとマレーシアの政治・経済・社会研究に特化したシンクタンクの間で、覚書が締結され、機関間の連携がさらに強化されました。

両国の合意は、エルドアン大統領の指導のもと、投資、技術、教育、戦略的対話に重点を置き、具体的な協力メカニズムを通じて二国間関係を推進するというアンカラとクアラルンプールの共通のビジョンを反映したものです。



トルコが香港で開催された第 19 回アジア金融フォーラムにおいて、投資ビジョンを強調

第 19 回アジア金融フォーラム（AFF）は、「変化する環境の中で新たな地平を共創する」をテーマに開催され、世界各国の主要な政策立案者、金融機関、ビジネスリーダーが一堂に会し、グローバルな金融動向と変化する経済の力学について意見を交わしました。

2 日間にわたるフォーラムには、60 以上の国と地域から 3,600 名を超える参加者が集まりました。本年開催された本イベントには、政府関係者、中央銀行および規制当局の代表者、金融業界の幹部、学者、経済学者など、150 名を超える著名な講演者が登壇しました。議論は、グローバル金融システムを形成する主要な動向に加え、資産・資産運用、フィンテック、貿易金融、金・貴金属取引、グリーンファイナンス、保険、リスク管理など幅広い分野における新たな機会に焦点を当てました。

メフメット・シムシェク財務大臣は、アジア金融フォーラムに出席し、香港において主要な国際投資家の方々と会談しました。プログラムの一環として、シムシェク大臣は「共有の成功のための協力の促進」と題されたパネルディスカッションで講演を行いました。このパネルディスカッションには、著名な機関投資家、ポートフォリオマネージャー、上級エコノミストが一堂に会しました。

シムシェク大臣は、フォーラムのセッションへの参加に加え、政府関係者や主要な利害関係者との公式会談を行い、投資機会について協議しました。これらの取り組みは、国際的なパートナーシップの強化、投資家の信頼向上、そして持続可能な長期的投資の促進に向けたトルコの取り組みを強調するものでした。

フォーラムには、投資・財務局を代表して海外事務所ユニットマネージャーのアフメット・サミ・ヤヴズ、カントリーアドバイザーのコン・ユウ・タン、専門家のムサップ・エリトが参加しました。代表団は国際投資家

との個別会談を実施し、トルコの投資環境と最近の金融動向に関する見解を共有するとともに、戦略的機会、進行中の改革、およびセクター別の成長見通しについて重点的に説明しました。

フォーラム全体を通じて、各パネルでは、ますます複雑化する世界的な政治・経済環境において、経済圏間のコミュニケーションと対話の強化、協力関係の促進、そして共有された発展の推進が重要であることが強調されました。





北マルマラ民間工業団地、トルコの産業マスタープランにおける新たな段階を示す

北マルマラ民間工業団地の大規模起工式が、メフメト・ファティフ・カチル産業技術大臣、ダヴト・ギュル・イスタンブール知事、関係機関の代表者、ならびに経済界の関係者のご出席のもと開催されました。

式典でスピーチされたカチル大臣は、イスタンブールを産業の知的中心地として位置付ける一方で、アナトリア全域に製造能力を拡大することでマルマラ地域の産業的混雑を緩和することをトルコが同時に目指していると述べました。大臣は、開発道路やザングズル回廊といった戦略的イニシアチブによって創出される新たなグローバルな接続性の機会が、新たな工業地帯の設立を通じて活用されることを強調しました。

カチル氏は、今後 30 年間にわたるトルコの産業発展を導くために策定された「工業地域マスタープラン」を強調しました。大臣は次のように述べました。「当省では、工業地域マスタープランを策定しました。これにより、計画中の工業地帯を 16 万ヘクタールから 35 万ヘクタールに拡大する予定です」。同氏は、この計画が地震や災害リスク、効率的な水利用、土地の傾斜、土地所有構造、農業生産、既存および計画中の鉄道への近接性、セクター集積の機会など、複数の基準を考慮に入れていると指摘しました。

マスタープランの第一段階において、総面積 59,000 ヘクタールに及ぶ 16 の新規投資区域が指定されました。カチル大臣は、これはトルコの既存計画工業地域ストックの 37% に相当する拡大であると述べました。これらの区域は、従来の組織化された工業区域の平均 11 倍の規模に達する見込みであり、港湾や鉄道と接続されたメガ工業地域として計画されています。労働者向け住宅や職業技術大学などの社会インフラを備えつつ、循環型経済の原則とグリーン生産を優先的に推進する方針です。

大臣はまた、これらの区域に設置される大規模データセンターへの投資が、産業分野全体におけるデジタル変革を加速させることを強調しました。

カチル大臣は、トルコが「トルコの世紀ビジョン」のもと、生産分野における最近の勢いを、投資、雇用、製造業、輸出における新たな成功事例で確固たるものとする決意を堅持していると述べました。

さらに、カチル大臣はトルコの輸出実績について言及し、製造業を牽引役として、商品輸出額が2002年の360億米ドルから2024年には2734億米ドルに増加したことを強調しました。大臣は、トルコが現在、中国から中央ヨーロッパに至る広範な地域において、製品と市場の両面で最も多様性に富んだ輸出国の一つとして位置づけられており、競争力のあるグローバルな製造・技術拠点としての地位を強化していると強調しました。



ボラト貿易大臣は、トルコと英国の経済連携の深化を強調し、400 億ドルの貿易目標を目指しています。

オメル・ボラト貿易大臣は、ロンドンでの一連の生産的なハイレベル会談を受け、英国との経済関係の強化に向けたトルコの決意を強調しました。両国は 400 億米ドルという野心的な二国間貿易目標に向けて取り組んでいます。

第 8 回トルコ・英国共同経済貿易委員会（JETCO）会合において、ボラト大臣がトルコ代表団を率い、貿易・投資協力の深化を目的とした 16 の具体的措置を含む、新たな JETCO 行動計画ならびに認定経済事業者（AEO）に関する相互承認協定に署名しました。これらの合意は、アンカラとロンドンの間で経済協力を戦略的パートナーシップへと発展させる上で重要な一歩となります。

ボラト大臣は公式ソーシャルメディアアカウントに投稿された声明において、両国間の深い友情が経済分野においてさらに強固なものとなり、実りある成果をもたらし、持続可能な発展という共通のビジョンに貢献することを期待していると述べました。大臣は、トルコが英国との間で、貿易・投資をはじめとするあらゆる分野において、多面的な協力を維持し強化していく意向であることを強調しました。

ボラト大臣はまた、英国が欧州連合を離脱した際に締結された自由貿易協定（FTA）の近代化と拡大に向けた交渉において、サービス、デジタル貿易、投資機会をより適切にカバーするよう協定を更新する形で、著しい進

展が見られたことを指摘しました。これらの取り組みは、双方の企業にとって市場アクセスをさらに促進する可能性のある次世代の貿易枠組みを構築することを目的とした、より広範な協議の一環です。

ボラト大臣は、トルコ経済の強みを強調し、若く高度な技能を持つ労働力、新たな市場へのアクセスに有利な地理的位置、そして歴史上最も包括的な投資奨励プログラムの一つを、英国からの投資拡大と合併事業における主要な魅力として挙げました。大臣は、トルコ企業が英国企業やその他の国際企業との協力を通じて、今後も世界的な地位を強化し続けることを強調しました。

公式データによると、両国間の貿易額は近年著しく増加し、約 240 億米ドルに達しています。過去 1 年間だけでも約 18 億米ドルの増加が見られ、両国はそれぞれ中期的目標として 300 億米ドル、長期目標として 400 億米ドルの貿易額を維持しています。

ボラト大臣のロンドン訪問では、英国のビジネスリーダーや関係機関との協議も行われ、多岐にわたる分野での協力拡大に対する相互の関心が示されました。大臣のコメントは、輸出主導型成長と外国投資を強化するというトルコ政府のより広範な戦略を反映しており、英国は引き続き優先市場および投資家としての地位を維持しています。



マスターカードと投資・財務局が提携し、トルコにおけるデジタル変革を推進

マスターカードと投資・財務局は、2026年から2027年にかけての期間における覚書（MoU）に署名しました。これは、トルコのデジタル経済と投資主導の変革を支援するための新たな協力段階を示すものです。

本協力は、デジタルイノベーションを通じた金融サービスエコシステムの強化、フィンテック及びスタートアップ環境の支援、並びに公共サービスにおける先進技術の活用拡大に重点を置きます。

この枠組みのもと、AI、サイバーセキュリティ、デジタル決済、技術主導型の公共ソリューションなどの分野において共同イニシアチブを検討してまいります。特に持続可能な成長と包摂金融に重点を置いてまいります。

本覚書は、マスターカード戦略的成長担当副会長ジョン・ハンツマン氏のトルコ訪問の一環として、投資・財務局にて調印されました。同氏は訪問中、主要な官民セクターの関係者と会談し、同国の投資環境および長期的な成長見通しについて協議しました。

ハンツマン氏は、トルコがヨーロッパ、アジア、中東の間に位置する戦略的な立地を強調し、同国の先進的なデジタルインフラとダイナミックなフィンテックエコシステムが、グローバルネットワークを通じて革新的なソリューションを拡大する上で重要な市場としての地位を確立していると述べました。

マスターカードのグローバルな専門知識、技術プラットフォーム、国際ネットワークと、投資・財務局の戦略的調整機能を組み合わせることで、本協力はトルコのスタートアップ企業の事業拡大と国際化、ならびに高付加価値で技術志向のビジネスモデルの開発を支援することを目的としております。

この文脈において、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオールは、このパートナーシップが、現地の起業家精神とイノベーションをグローバル・バリューチェーンへ統合するプロセスを加速させることで、トルコの外国直接投資戦略に直接貢献することを強調しました。

起業支援に加え、本協力関係では、公共サービス及び商業分野におけるデジタル決済技術の普及促進を図るプロジェクトの評価も含まれております。これにより、サービスの効率性向上を図るとともに、公共の福祉を支えるデータ駆動型・AI ベースのソリューションを推進することを目的としております。

トルコの外国直接投資戦略および長期的なデジタル変革目標に沿った本協力は、同国がイノベーション主導の発展に注力している姿勢を反映しております。トルコは、強固なインフラ、高度な人材、そして活気あるビジネス環境を背景に、グローバルなデジタル経済におけるイノベーション、金融、テクノロジーの結節点としての地位をさらに強化し続けております。





GITEX AI Türkiye が 2026 年 9 月にイスタンブールで初開催

2026 年 9 月 9 日から 10 日にかけてイスタンブールで開催予定の「GITEX AI Türkiye」のローンチイベントが、チラーン宮殿にて開催されました。GITEX AI Türkiye は、投資・財務局、産業技術省、ドバイ世界貿易センター、KAOUN International が締結した覚書に基づき開催されます。これにより、GITEX GLOBAL ブランドがトルコに導入され、人工知能に特化した取り組みが推進されます。

ローンチイベントにて登壇した投資・財務局長の A・ブラク・ダールオールは、トルコの急速に成長する AI スタートアップ・エコシステムに関する重要な見解を共有しました。

同氏は、トルコには 1,000 社以上の AI に特化したスタートアップが存在すると指摘し、さらに 2025 年だけで 300 件以上の投資取引が記録されたと付け加えました。その大半は初期段階での取引でした。

「今後数年間でさらなる指標が現れるでしょう」とダールオール氏は述べ、トルコが中東欧地域で初の AI ユニコーン企業であるインサイダーを生み出したことを、エコシステムの成熟を示す強力な兆候として強調しました。

ダールオールは、GITEX AI Türkiye がトルコにとって極めて戦略的なイベントであることを強調し、世界のテクノロジーブランドをトルコに誘致することの重要性を指摘しました。

同氏は GITEX のグローバルな広がりを強調し、このイベントが地域のイノベーション・エコシステムに意義ある貢献をもたらすと述べました。

同イベントで登壇した産業技術省国家技術・AI 局長サドゥッラー・ウズン氏は、持続可能かつ世界的に統合されたハイテク・AI エコシステムの構築に向けたトルコの意欲を強調しました。

「過去 10 年間、私たちはスタートアップ企業を立ち上げただけでなく、フィンテックやゲームから医療、産業革新に至るまで、強固な基盤を築いてまいりました」とウズン氏は述べました。

同氏はさらに、大学、テクノパーク、そして公共部門の間の協力が、今や世界規模で競争できる企業の出現を可能にしているとも述べました。

ドバイ・ワールド・トレード・センターのトリクシー・ローミルマンド常務副社長は、トルコが規模拡大を原動力とした経済変革において成功を収めている点を強調し、製造業、物流、金融、ゲーミング、電子商取引など幅広い分野で同国が示した堅調な業績に言及しました。

ローミルマンド氏は、GITEX プラットフォームについて説明し、従来の商取引イベントを超えた存在であると強調しました。「当プラットフォームは、単なる売買を目的とした従来の展示会ではありません。政府、学術関係者、投資家、未来学者、起業家、人材、そして様々な分野のグローバルテクノロジー企業を結集するエコシステム構築の集まりです。技術と人工知能（AI）の融合が進んでいます。現在では、AI はほぼ全ての産業分野に適用可能となっています。

それゆえに、このプラットフォームはこれまで以上に不可欠であり、特にトルコが世界中の多くの経済と同様に重大な転換点に立っている今この時において、その重要性は一層高まっています」



スタートアップ・ウォッチ年次イベントにて、トルコのスタートアップ・エコシステムが注目を集める

スタートアップ・ウォッチ年次イベント 2026 は、投資家、起業家、業界リーダーが一堂に会し、トルコのスタートアップ・エコシステムに関する包括的な見解を提供しました。投資・財務局長の A・ブラク・ダールオールがオープニング・ファイヤーサイド・チャットに参加し、トルコの投資見通しとスタートアップ・エコシステムの動向に関する重要な見解を共有しました。

ダールオールは、2025 年 1 月から 11 月までのトルコにおける外国直接投資（FDI）が 124 億米ドルを記録し、前年同期比 27% の増加となったことを指摘しました。同氏は、技術主導型ベンチャー企業への資本流入とサプライチェーン関連投資が、この勢いの主要な推進力となっていることを強調しました。

ダールオールは、AI のグローバルな重要性を強調し、AI 主導のエネルギー需要の増加に対応することを目的とし、長期的な投資によって支えられているトルコの 2035 年エネルギー戦略および AI 戦略について言及しました。また、フィンテックとゲーミング分野における投資家の関心の高まりにも言及し、持続的な成長のためにはパイプラインの厚みが重要であることを強調しました。

ダールオールはさらに、イスタンブール金融センターが推進するフィンテック特化型テクノパーク「フィンテック・ゾーン・イスタンブール」について強調しました。同施設は規制当局との近接性と対象を絞った優遇措置を提供しています。これらの動きは、トルコがイノベーション、技術、投資の結節点としての地位を強化するものです。



トルコ、航空旅客数が 2 億 4720 万人で過去最高を記録

トルコでは 2025 年、航空旅客数が過去最高を記録し、2 億 4720 万人が航空機を利用しました。これは国家空港庁（DHMI）が発表したデータにより、同国史上最高の数値となりました。

運輸・インフラ大臣アブドゥルカディル・ウラルオウル氏は書面による声明の中で、2025 年 12 月および通年の航空機、旅客、貨物統計について評価を行いました。12 月の航空機総運航数は、通過便を含め 189,376 便に達し、内訳は国内線 75,167 便、国際線 63,493 便となっております。この数値は前年同月比で 11.7% の増加を示しております。

12 月の旅客輸送量は延べ 1,753 万人となり、内訳は国内線が 790 万人、国際線（直行便の乗り継ぎ旅客を含む）が 962 万人でした。前年 12 月と比較して、旅客輸送量は 12.6% 増加しました。同月における空港の貨物取扱総量は 412,007 トンに達し、内訳は国内線が 65,151 トン、国際線が 346,856 トンとなっております。

年間ベースで、航空機の運航回数は国内線で 991,048 回、国際線で 933,036 回に達しました。通過便を含め、航空機総交通量は 251 万機となり、2024 年と比較して 9.3% の増加を示しました。国内線の旅客数は 1 億 170 万人、国際線は 1 億 4540 万人に達しました。国内の空港を利用した旅客数は、乗り継ぎ旅客を含め合計 2 億 4716 万人となり、前年比 7.1% の増加となりました。ウラルオウル大臣は、この数値がトルコ共和国史上において過去最高となる航空旅客数を記録したものであると述べました。

貨物量も年間を通じて大幅に増加し、総計 515 万トンに達しました。このうち、929,373 トンが国内航路で輸送され、422 万トンが国際航路で輸送されました。

イスタンブール空港では、12月の航空機離着陸回数が45,542回に達し、内訳は国内線9,209便、国際線36,333便となっております。空港の旅客数は延べ693万人となり、内訳は国内線旅客が130万人、国際線旅客が563万人でした。2024年12月と比較して、イスタンブール空港の旅客数は11%増加しました。

主要な観光地にある空港も、年間を通じて好調な業績を記録しました。これらの空港における航空機総発着回数は424,870回に達し、旅客数は6,288万人に上りました。内訳は国内線旅客が1,958万人、国際線旅客が4,330万人となっております。アンタルヤ空港では3,916万人の旅客が利用しました。イズミル・アドナン・メンデレス空港では1,266万人、ムーラ・ダラマン空港では564万人、ミラス・ボドルム空港では441万人、ガジパシャ・アラニヤ空港では100万人の旅客が利用しました。

最新の統計データは、トルコにおける航空業界の持続的な成長を裏付けております。これは、堅調な観光需要、拡大する国際的な接続性、そして空港インフラへの継続的な投資によって支えられております。



トルコのスタートアップ企業が、ドバイで開催されたガルフードで農業食品技術を展示

世界最大の食品・農業展示会「ガルフード」が、アラブ首長国連邦のドバイ世界貿易センターおよびドバイ展示センターにて開催されました。昨年の約2倍の規模に拡大した本展示会には、195カ国から参加者が集い、8,500の展示ブースが設けられました。

食品および農業食品技術分野における世界有数の国際的な交流の場としての地位を維持するガルフード2026に、トルコは強力な代表団を派遣しました。大規模な食品企業だけでなく、革新的なスタートアップ企業も参加しました。本年の展示会において、投資・財務局はトルコパビリオンにてトルコの起業家エコシステムを推進し、トルコスタートアップ企業の国際的な認知度向上を支援しました。

今年初めて開始されたガルフード・スタートアップ・プログラムの枠組みにおいて、投資・財務局の主導のもと、トルコから9つのスタートアップ企業が展示会に参加し、国際的な舞台で自社の技術を発表しました。

参加したトルコのスタートアップ企業には、Bee&You、bahs.、ANT Systems、Doktar、Tarla.ioのほか、農業技術クラスター傘下で活動するItech Robotics、Dostfood、Dost Tarım、Tempa Teknikが含まれています。展示会を通じて、これらの企業はグローバルな業界関係者や潜在的なパートナーに対し、自社のソリューションを提示しました。

参加スタートアップ企業の中から、Bee&YouとANT Systemsが、ガルフードの一環として開催される、非常に選抜性の高いコンテスト「ワールド・アグリフードテック・スタートアップ・コンペティション」の準決勝ス

ステージに進出しました。この成果は、トルコのスタートアップ・エコシステムのグローバルな競争力とイノベーション能力の高まりを改めて浮き彫りにしました。





CCE ユーラシア・ビジネスフォーラムで、トルコの投資環境が焦点に

フランス商工会議所トルコ支部およびフランス商工会議所トルコ支部（CCI France Turquie）が主催する CCE ユーラシア・ビジネスフォーラムがイスタンブールにて開催され、ユーラシア地域における主要フランス企業の上級経営陣が一堂に会しました。登壇者の方々は、トルコにおけるビジネス、金融、投資のエコシステムが進化の中で得られた知見を共有しました。

投資・財務局広報部長のギョクハン・ユセルがフォーラムの開会挨拶を行い、世界的な減少傾向にもかかわらず、2025年1月から11月までのトルコへの外国直接投資（FDI）が前年同期比 27.6%増加し、125 億米ドルに達したことを強調しました。



ロールス・ロイスとターキッシュ・テクニク、イスタンブール空港に航空エンジン整備施設を着工

ロールス・ロイスとターキッシュ・テクニクは、イスタンブール空港にターキッシュ・テクニクの最新鋭航空エンジン整備・修理・オーバーホール（MRO）施設の起工式を行ったことを発表しました。

2025年5月にロールス・ロイスのグローバルMROネットワークにおける最新拠点として初めて発表された当施設は、ターキッシュ・テクニクの整備業界における最先端の地位をさらに強化するとともに、ロールス・ロイスの既存MRO拠点網を補完し、大型民間航空エンジンの長期的な需要拡大を支えてまいります。

2027年末までに稼働開始を予定している当施設により、ターキッシュ・テクニクはエアバスA350およびエアバスA330neo航空機に搭載されるトレントXWB-97、トレントXWB-84、ならびにトレント7000エンジンの包括的な整備サービスを提供することが可能となります。

年間200機の整備対応を計画している新センターは、地域最大級の航空エンジン整備施設の一つとなる見込みです。ロールス・ロイス・トータルケアの顧客ならびにトルコ航空の機体群に対し、サービスを提供してまいります。



ADSW 2026 で、トルコのグリーン投資計画を披露

アブダビ・サステナビリティ・ウィーク（ADSW）2026 は、再びアラブ首長国連邦において、エネルギーおよびサステナビリティ分野のグローバルリーダーたちを集結させました。投資・財務局の代表者が本イベントに参加し、主要な関係者と交流を深め、有意義な関係を構築しました。

ADSW 2026 と並行して、投資・財務局は再生可能エネルギーと持続可能性に関するセクター別ロードショーを開催し、世界的なエネルギー転換を加速させるという共通の目標を強化しました。当局のエネルギー部門チームならびに投資・財務局カントリーアドバイザーのアフメト・エムレ・ビュユックルチが出席した本ロードショーは、トルコのグリーン変革への取り組みと持続可能性への長期的な取り組みを紹介する場となりました。

ロードショーを通じて、トルコ共和国が有する強力な再生可能エネルギーの潜在力と投資家に優しい枠組みが、10件以上のターゲットを絞った個別面談を通じて強調されました。これにより、クリーンエネルギーや持続可能性を重視したプロジェクトにおいて、同国が国際的な投資家や戦略的パートナーにとってますます魅力的になっていることが示されました。



トルコ・イタリア関係が「欧州とその先を見据えて」パネルで議論

投資・財務局は、グローバル・リレーションズ・フォーラム及び CeSPI が主催するパネルディスカッション「トルコとイタリア：欧州とその先を見据えて」を開催しました。本イベントには、トルコとイタリアのビジネス界、官公庁、学術界から約 50 名の参加者が集まり、トルコと EU の関係における政治的・経済的側面について議論が行われました。開会の挨拶は、グローバル・リレーションズ・フォーラム議長ゼイネップ・ボドゥル・オキヤイ氏、CeSPI 会長ダニエレ・フリゲリ氏、そして元イタリア首相エンリコ・レッタ氏より行われました。最初のセッションでは、トルコと EU の関係、ならびにトルコとイタリアの協力に関する政治的展望に焦点が当てられました。第二セッション「経済・商業機会」において、投資・財務局カントリーアドバイザーのジーノ・コスタ氏は、トルコとイタリア間の二国間投資の流れを強化し、経済協力を促進するための主要分野と枠組みについて説明しました。



Co-Host:



INVEST IN
TÜRKİYE

TÜRKİYE PRIVATE EQUITY AND M&A FORUM 2026

March 27, 2026

Swissotel The Bosphorus İstanbul

Bronze-Host:

KST LAW

Event and Media Partners:





nexus
OF THE WORLD

Soma A Thermal Power Plant Privatization

Tender Announcement

DEADLINE

**February 10, 2026
18.00 TRT**

INSTALLATION CAPACITY

44 MW (2x22 MW)

GENERATION LICENSE

Valid until March 13, 2052





nexus
OF THE WORLD

Bozcaada Wind Power Plant Privatization

Tender Announcement

DEADLINE

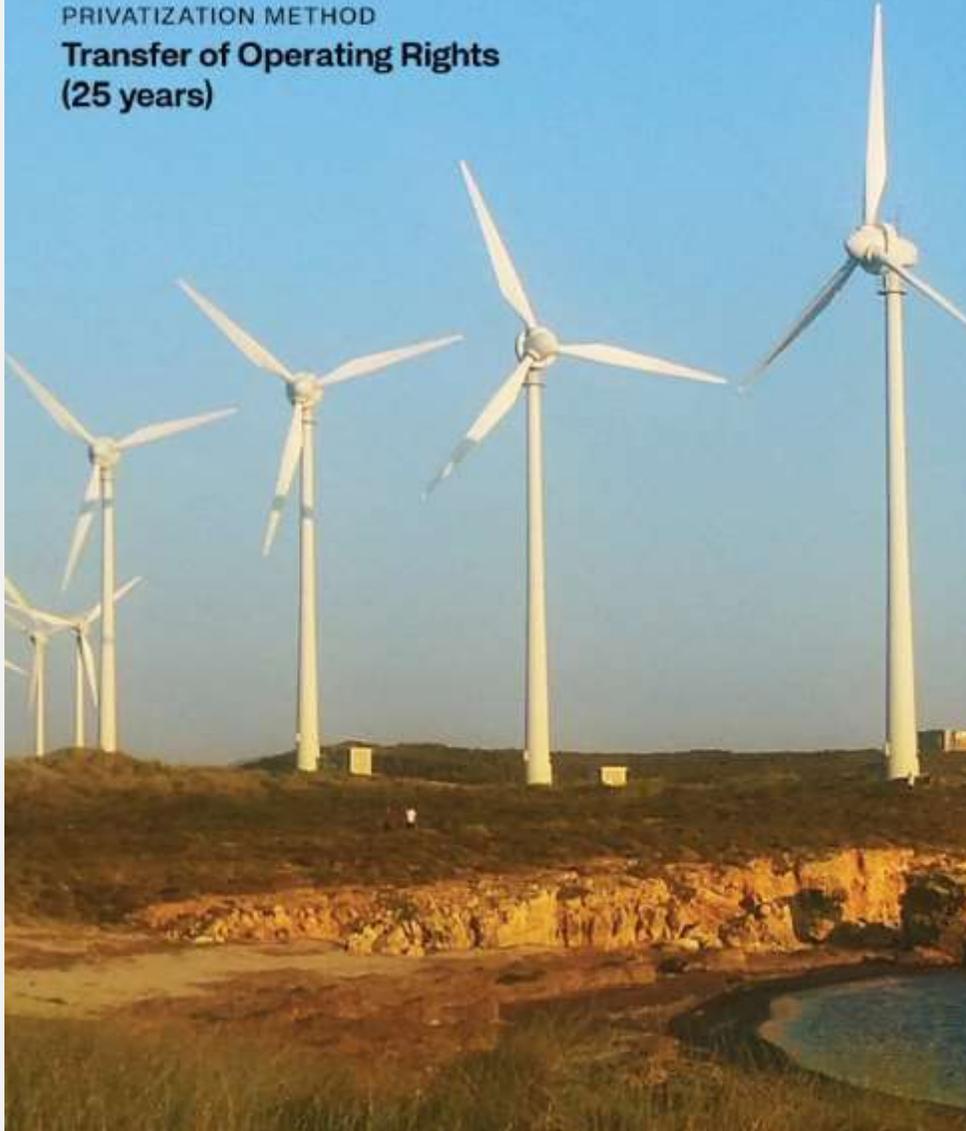
**February 18, 2026
18.00 TRT**

INSTALLED CAPACITY

**10.2 MW
(17 ENERCON turbines)**

PRIVATIZATION METHOD

**Transfer of Operating Rights
(25 years)**





Tekirdağ Çeşmeli Port Privatization

Tender Announcement

DEADLINE

**March 25, 2026
17.30 TRT**

PLANNED CAPACITY

8.5 million tons/year

Container – Ro-Ro –
General Cargo – Bulk & Liquid Cargo

TOTAL AREA

**1.5 million m²
(land + sea)**

PRIVATIZATION METHOD

**Annual Operating Right Fee
(45 years)**



■ TESTIMONIAL 



“IT IS A GREAT TIME TO INVEST IN TÜRKİYE”

Didem Duru
GENERAL MANAGER, CISCO



■ TESTIMONIAL 



“TÜRKİYE IS AN INTEGRAL PART OF GLOBAL VALUE CHAINS”

Emre Karter
CITI GROUP, MANAGING DIRECTOR



■ TESTIMONIAL 



“TÜRKİYE HAS VAST POTENTIAL FOR INVESTMENT”

Heiko B. Juritz
EMERCON, CHIEF OPERATING OFFICER



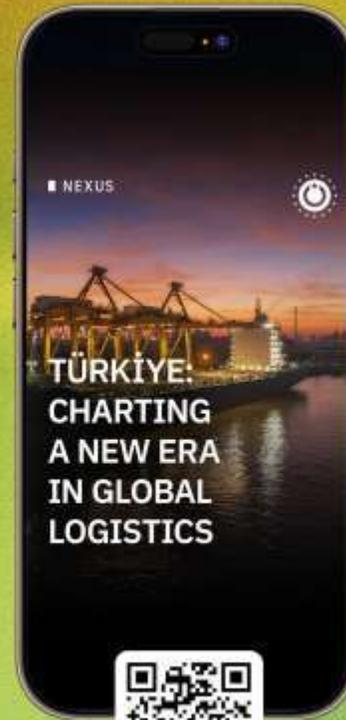
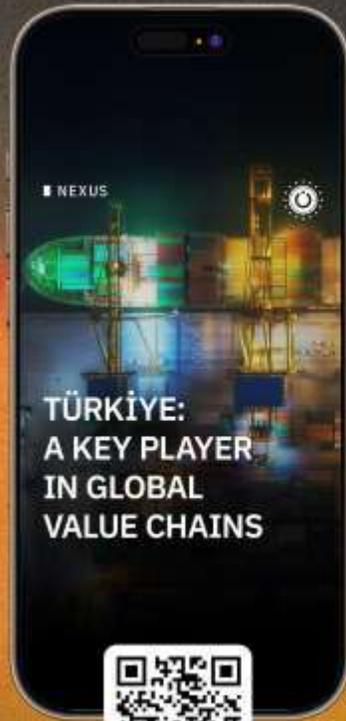
■ TESTIMONIAL 



“TÜRKİYE HAS A STRONG HARDWARE MANUFACTURING BASE”

Inna Nazarova
KASPERSKY, GLOBAL HEAD OF CHANNEL





NEXUS OF
MANUFACTURING



nexus
OF THE WORLD

Türkiye's Chemicals Industry



 [CLICK TO READ](#)

Türkiye Foreign Direct Investment Strategy (2024-2028)



 [CLICK TO READ](#)

Invest In Türkiye Roadshow Booklet



 [CLICK TO READ](#)

WHY INVEST IN TÜRKİYE?



Subscribe to our newsletter to receive news and updates on Türkiye's investment environment and Investment and Finance Office's activities

 [CLICK TO READ](#)



 [CLICK TO READ](#)

Foreign Direct Investment in Türkiye Century



 [CLICK TO READ](#)

Electric Vehicle Industry Report



 [CLICK TO READ](#)

Why Invest in Türkiye in a Nutshell



WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a **4-hour flight**, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 273 billion** of FDI between 2003-2024, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA
GDP: \$2.8 trillion
Import: \$467 billion
Population: 244 million

MENA
GDP: \$4.4 trillion
Import: \$1.5 trillion
Population: 472 million

EUROPE
GDP: \$24.9 trillion
Import: \$8.3 trillion
Population: 595 million

TOTAL

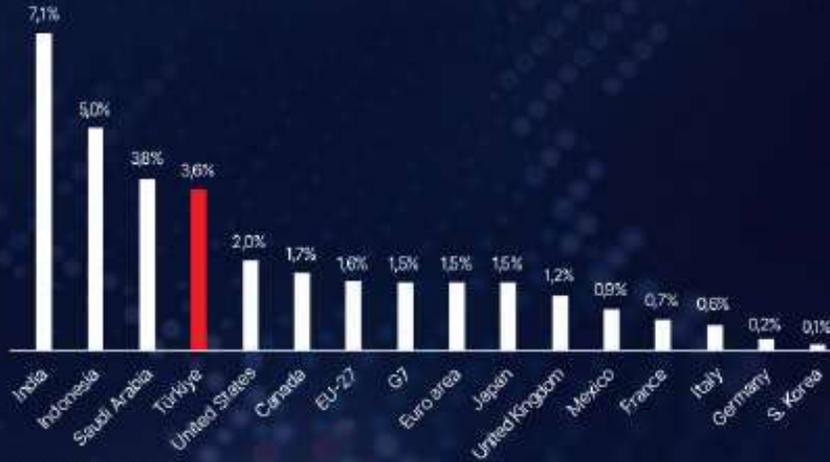
GDP: \$32.1 trillion
Import: \$10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

REAL GDP GROWTH

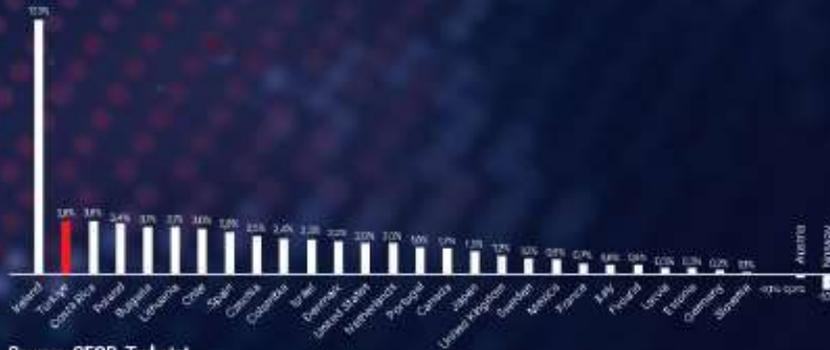
(2025-H1, year on year growth)

G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2024, with an average annual growth rate of

5.3%

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

A population of 85.7 million, half of which is under the age of 34,4.

(2024, TurkStat)

Largest youth population compared with the EU.

(2023, Eurostat)

96.4 million fixed and mobile broadband internet subscribers.

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

Around 36 million young, well-educated and motivated professionals.

(2024, Turkstat)

Around 960,000 students graduate annually from 208 universities.

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **272**

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **27,797**

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

 **58**

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

-  USA
-  GERMANY
-  ITALY
-  SPAIN
-  NETHERLANDS
-  TÜRKİYE
-  S. ARABIA
-  UAE
-  QATAR
-  CHINA
-  S. KOREA
-  JAPAN
-  UK
-  SINGAPORE
-  MALAYSIA

SECTORS

- Agrofood
- Automotive
- Chemicals
- Defense & Aerospace
- Energy
- Financial Investments & Startups
- ICT
- Infrastructure
- Life Sciences
- Machinery
- Business Services
- Financial Services
- Mining & Metals
- Real Estate
- Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

FOLLOW US



@InvestTurkey
@InvestTürkiyeAR
@InvestTR_DACH
@InvestTR_JAPAN



@InvestTurkey
@investinturkiyear
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey
@investinturkiyear
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye_en
@investinturkiye_ar

